



安心とつるおいの下町「川の手」をめぐりて

# 防災 まちづくり 瓦版

発行「一言問」を防災のまちにする会

1992.4.1.

地蔵坂通り

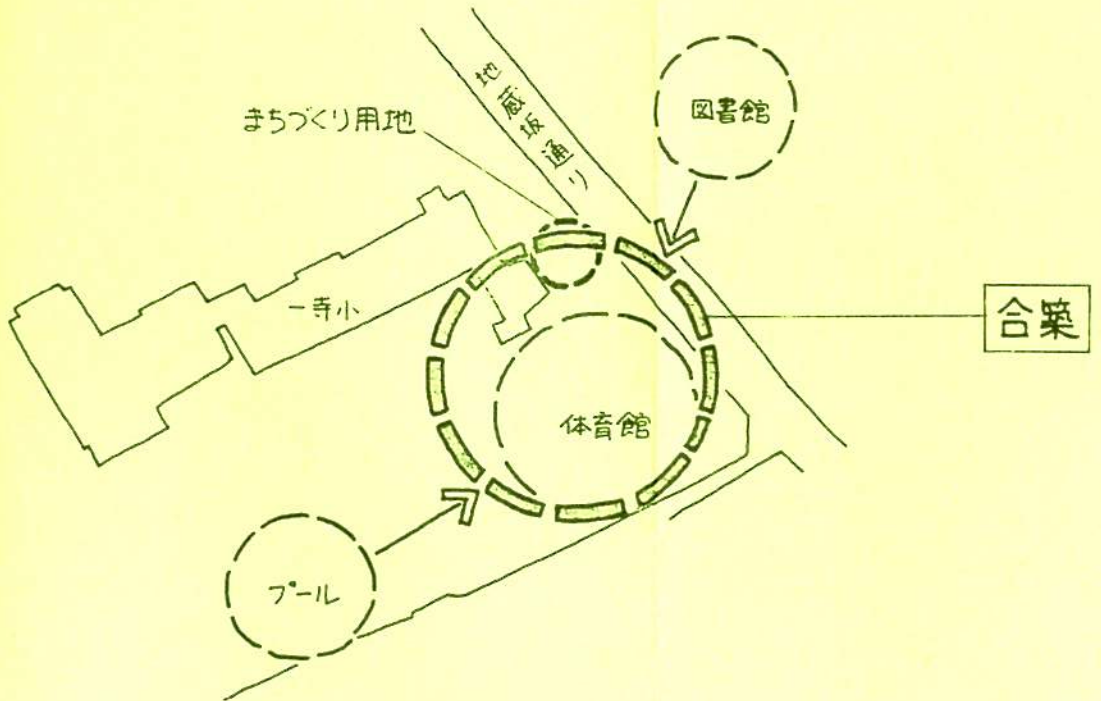
まちづくり用地を活用して  
**図書館・プール・体育館の合築を!**

## 区長・教育長に要望書を提出

寺島図書館前のまちづくり用地の利用方法について検討を進めてきた担当理事会は、2月28日の検討会議で「寺島図書館と一寺小のプール・体育館を合築し、地域に開放された施設とすること」を、区に要望することになりました。これは、一寺小防災活動拠点の強化、地域の活性化を目指したもので、古くからの文教施設の集積をうまく生かそうとしたアイデアです。  
担当理事会で要望書を作成の後、3月24日に区長と教育長宛に提出する予定です。

## 暫定利用も検討

検討会議で商店会から「空き地にゴミが捨てられたり、犬の糞が落ちていたりして困っている。また、空き地は商店街にさびれた印象を与えてしまう。当面のあいだ暫定利用することは考えられないだろうか」という意見がでました。  
担当理事会ではこれを受けて、地元商店会の管理で暫定利用ができるよう、合築の要望と併せて、商店会と共に区長に要望することになりました。具体的な利用方法については検討中ですが、リサイクル活動やまちづくり情報のパネル展示などに使いたいという案が出ています。  
またこれと併せて、まちづくり用地の近くにある塚本紙器跡地についても、通りの環境や美化を考えて暫定的に整備するよう要望します。



のまちにする会  
則  
平成4年2月18日改正

「一言問」(略称:一言会)と称する。  
しかもうるおいのあるまちにしていく方向性を示すことを目的とする。  
活動をおこなう。  
目町会、東向一南町会、東向島宮元町会、堤通一丁目町会)と、「一寺言問の防災まちづくりをすすめる会」を組織する。  
理事会は、各構成団体から選出された理事に会長1名と副会長若干名をおく。役員は、理事の中心に事務局をおく。事務局には、事務局長1名と事務局員をおく。

## 活動体制を検討

一言会はいままで「東京都防災生活圏モデル事業」によって、東京都と墨田区の支援を受けて、活動を続けてきました。しかし、今年度をもってこの事業が終了し、一言会への支援は墨田区に一本化されます。  
そこで、一言会ではこれを機に、より充実した活動を展開するために、平成4年度以降の新たな活動体制の検討を始めました。そしてその第一歩として、2月18日の理事会で一言会の会則を改正しました。

# 私がまちづくりスタッフです

その25

向島五丁目

植竹モトさん

(一言会理事)



植竹さんとまちづくりの出会いは、向島有季園にある路地裏第3号基に雨水を提供したことに始まる。畑の利用者にもなっており、有季園について知らないことはない。有季園の管理もお願いしている。

大正12年、栃木県生まれ。旧寺島六丁目に住んでいた伯父さんの所から、女学校に通う。一時、栃木に帰ったが、16才再び上京。旧荏原區にあった行儀見習いの私塾に弟子入りする。お茶、お花作法、裁縫と仕込まれる。

昭和16年、大東亜戦争が始まり、「女も外に出て働く時代」と師匠に言われ、お針を習っていた箱入り娘は、品川の園池製作所に就職。職業婦人になる。今でいうキャリア・ウーマン。飛んでる女は目立つ。寄宿舎の舎監になり、挺身隊の小隊長になった。軍事訓練と戦争の残務整理に追われる。それが植竹さんの青春だった。

向島五丁目に越してきたのは、昭和28年頃。それから40年、向島を終の住家と決めて、家も新築した。一言会の理事にもなった。

「向島と縁があった。一言会との縁も大切にしたい。できることはお手伝いしますよ。」頭脳明晰。色白の白髪美人。今の植竹さんは、長年病いと戦ってきた人には見えぬ、かくしゃくたる風格がある。(純)

## 一言会 / 防災まちづくり瓦版

第27号 平成4年4月1日発行

編集 / 一言会を防災のまちにする会・編集部  
高原純子・若木菊枝・木田啓男・木田文代

編集協力 / マヌ都市建築研究所

発行 / 一言会を防災のまちにする会・事務局  
墨田区吾妻橋1-23-20

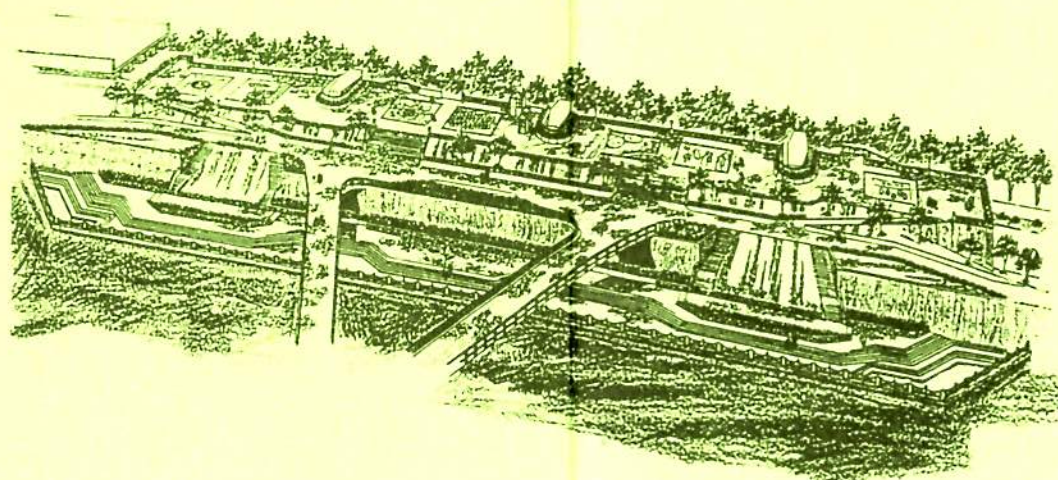
TEL (5608) 1111



▲きれいになった桜橋通りの歩道



▲隅田川にぶつかる部分は車道も改装



▲桜橋デッキスクエア鳥瞰図

一寺言問地区の南端・桜橋通りの歩道が、きれいに改装されています。白い石畳の中に桜色のアクセント。隅田川にぶつかる部分は車道も同様に改装され、いくつかの色を使って大輪の花火のような大きな模様がかけています。

また、桜橋通りが突き当たる隅田川の堤防部分では、桜橋デッキスク

エアの建設工事が進行中。これができると、桜橋通りから大階段を上がり、直接隅田川のほとりやそこにかかる桜橋に出られるようになります。なお、これらの工事には、東京都防災生活圏モデル事業が適用されています。どちらもこの春完成を予定しております。墨堤の花見や隅田川の花火に向けて、新たな名所となることでしょう。

# 新たな名所

## 桜橋通り・桜橋デッキスクエア

### 一言会を防災のまちにする会

- (名称) 本会は「一言会を防災のまちにする会」
- (目的) 本会は、一言会地区を災害に強いまちにするための防災まちづくり計画を推進している。
- (活動) 本会は、(目的)を達成するための活動を行う。
- (構成) 本会は、地区内の町会(東向島一丁目町会、向島五丁目東町会、向島五丁目西町会、向島五丁目南町会、向島五丁目北町会)によって構成されている。
- (理事会) 本会は、議決機関として、理事会を設け、これを構成する。
- (役員) 本会は、会を代表する役員として、役員会を設け、これを構成する。
- (事務局) 本会は、会の活動を円滑にするために、事務局を設け、これを構成する。
- (会則の改定) 本会則は、理事会において改定できる。

## 一言会 平成4年度以降の活動

増加に対応するために、これまで各町会及びわいわい会から3名ずつとしていた理事の定数をなくし、希望者への枠を広げたこと。我がところは、と思う方はどんどんまちづくりに参加して下さい。

また、この他には、当初の目的のひとつだった「防災まちづくり計画の立案」は達成されたために削除し、この計画の推進を目的としました。そして、これまで明記されていなかった事務局の構成を明記しました。

